

長崎県感染症発生動向調査速報（週報）

2025年第2週 2025年1月6日（月）～2025年1月12日（日）2025年1月16日作成

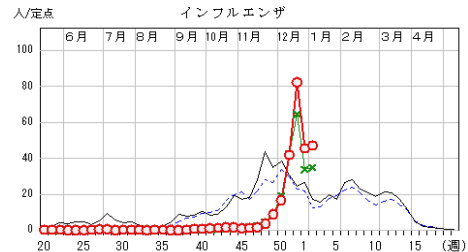
☆定点※報告疾患（定点当たり報告数の上位3疾患）の発生状況

（1）インフルエンザ

第2週の報告数は3294人で、前週より102人多く、定点当たりの報告数は47.06であった。

年齢別では、10～14歳（389人）、40～49歳（261人）、50～59歳（254人）の順に多かった。

定点当たり報告数の多い保健所は、県北保健所（73.25）、長崎市保健所（56.65）、県南保健所（51.50）であった。

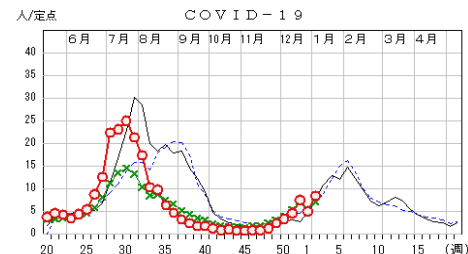


（2）新型コロナウイルス感染症

第2週の報告数は589人で、前週より238人多く、定点当たりの報告数は8.41であった。

年齢別では、80歳以上（121人）、60～69歳（81人）、50～59歳（65人）の順に多かった。

定点当たり報告数の多い保健所は、上五島保健所（60.33）であった。

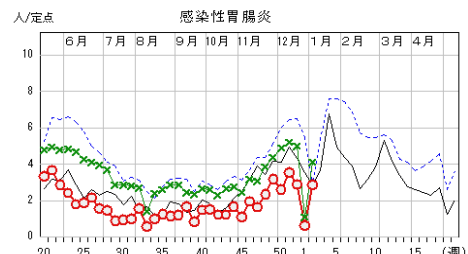


（3）感染性胃腸炎

第2週の報告数は126人で、前週より98人多く、定点当たりの報告数は2.86であった。

年齢別では、1歳（26人）、3歳（18人）、2歳（15人）の順に多かった。

定点当たり報告数の多い保健所は、県北保健所（9.33）、佐世保市保健所（4.00）、長崎市保健所（3.60）西彼保健所（3.25）であった。



○ 当年（長崎県） ー 前年（長崎県）
× 当年（全国） ー 前年（全国）

※インフルエンザ/COVID-19定点数：70、小児科定点数：44、眼科定点数：8、基幹定点数：12

☆上位3疾患の概要

【インフルエンザ】

第2週は3,294人の報告があり、定点当たり報告数は47.06でした。4週続けて警報レベルの報告数となっています。地区別にみると、10保健所のうち、五島を除くすべての地区で警報レベルの報告数となっています。

インフルエンザは、インフルエンザウイルスを原因とする気道感染症です。感染経路は、咳やくしゃみによる飛沫感染と、飛沫等に含まれるウイルスが付着した手指で自分の眼や口、鼻を触ることによる接触感染があります。1日から3日間の潜伏期間のあとに38度以上の発熱、頭痛、全身倦怠感、筋肉痛、関節痛などの全身症状が突然現れます。これに続いて咳、鼻汁などの上気道炎症が起こり、約1週間で軽快するのが典型的な症状です。

今後も手洗い・手指消毒、適切なマスクの使用、換気などの基本的な感染対策を励行し、予防に努めましょう。

【新型コロナウイルス感染症】

第2週の報告数は589人で、定点当たり報告数は8.41でした。地区別では、上五島地区（60.33）は他の地区より多くなっています。今後も動向に注意しましょう。

本疾患の主な症状は、発熱、咳、全身倦怠感等の感冒様症状で、主に飛沫感染や接触感染により感染します。場面に応じたマスクの着用や手洗い、換気、三密の回避などの基本的な感染対策に努めましょう。

【感染性胃腸炎】

第2週の報告数は126人で、定点当たり報告数は2.86でした。地区別にみると県北地区（9.33）、佐世保地区（4.00）、長崎地区（3.60）、西彼地区（3.25）は他の地区より多くなっています。例年12月から1月に患者数が増加する傾向にあります。今後も動向に注意しましょう。

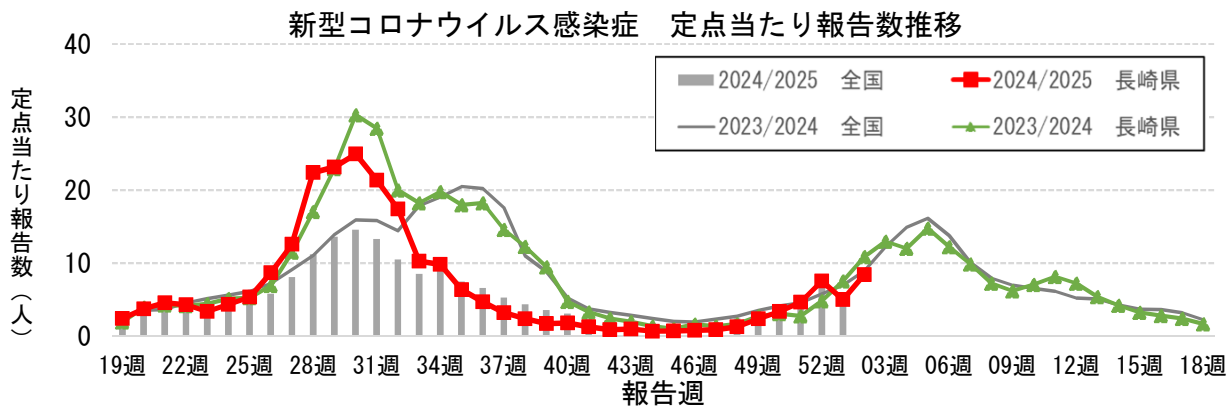
本疾患は、細菌又はウイルスなどの病原微生物による嘔吐、下痢を主症状とする感染症です。原因はノロウイルスやロタウイルス、エンテロウイルス、アデノウイルスなどのウイルス感染による場合が主流ですが、腸管出血性大腸菌などの細菌が原因となる場合もあります。手洗いの励行とともに、体調管理に注意して感染防止に努め、早めに医療機関を受診しましょう。

☆トピックス：新型コロナウイルス感染症に注意しましょう

新型コロナウイルス感染症の長崎県における第2週の定点当たり報告数は「8.41」でした。

年代別にみると、80代以上（21%）、60代（14%）、50代および10歳未満（11%）の順に多くなっています。

前年は12月から2月にかけて報告数の増加がみられましたので、引き続き注意が必要です。場面に応じたマスクの着用や手洗い、換気、三密の回避などの基本的な感染対策に努めましょう。

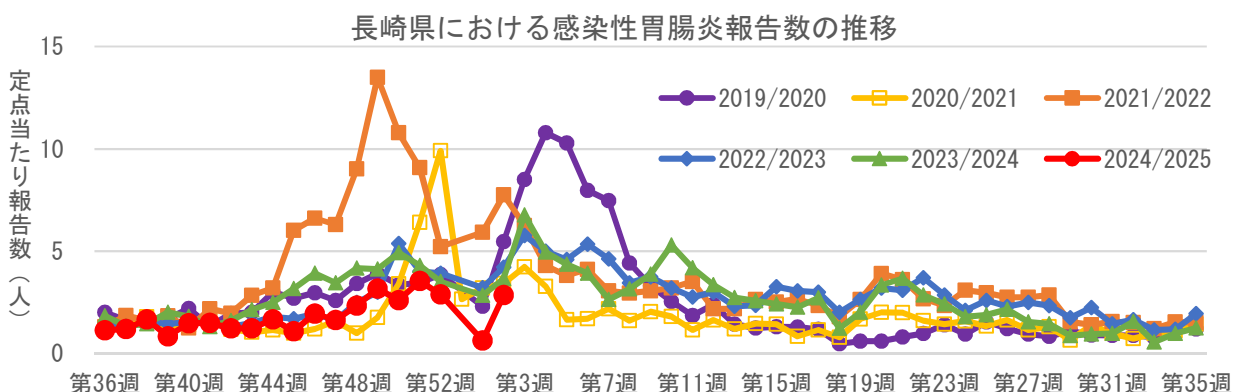


☆トピックス：感染性胃腸炎を予防しましょう

本疾患は、細菌又はウイルスなどの病原微生物による嘔吐、下痢を主症状とする感染症です。原因はノロウイルスやロタウイルス、エンテロウイルス、アデノウイルスなどのウイルス感染による場合が主流ですが、腸管出血性大腸菌などの細菌が原因となる場合もあります。

例年冬期に患者数が増加するのがノロウイルスによる胃腸炎です。ノロウイルスの潜伏期間は1～2日で症状の持続期間は数時間～数日です。症状は他の胃腸炎ウイルスと同様に嘔気、嘔吐、下痢が主で、腹痛や発熱を認める場合もあります。乳幼児から成人に至るあらゆる年齢に感染します。

予防には、手洗いが重要です。手洗いを励行し、体調管理を行い、積極的な感染防止に努めましょう。



☆トピックス：インフルエンザが流行しています

2025年第2週は3,294人の報告があり、定点当たり報告数は47.06で、4週続けて警報レベルの報告数となっています。県内では、2024年第52週に、現行の調査が開始された1999年以降で最多となる、定点当たり報告数「82.27」となりました。

地区別にみると、五島地区を除くすべての地区で警報レベルの報告数となっています。

年代別では、10歳未満（40%）、10代（16%）が多くなっています。

また、長崎県環境保健研究センターにおいて、2024/2025シーズンに搬入された検体から、インフルエンザA/H1pdm09の遺伝子が多く検出されています。

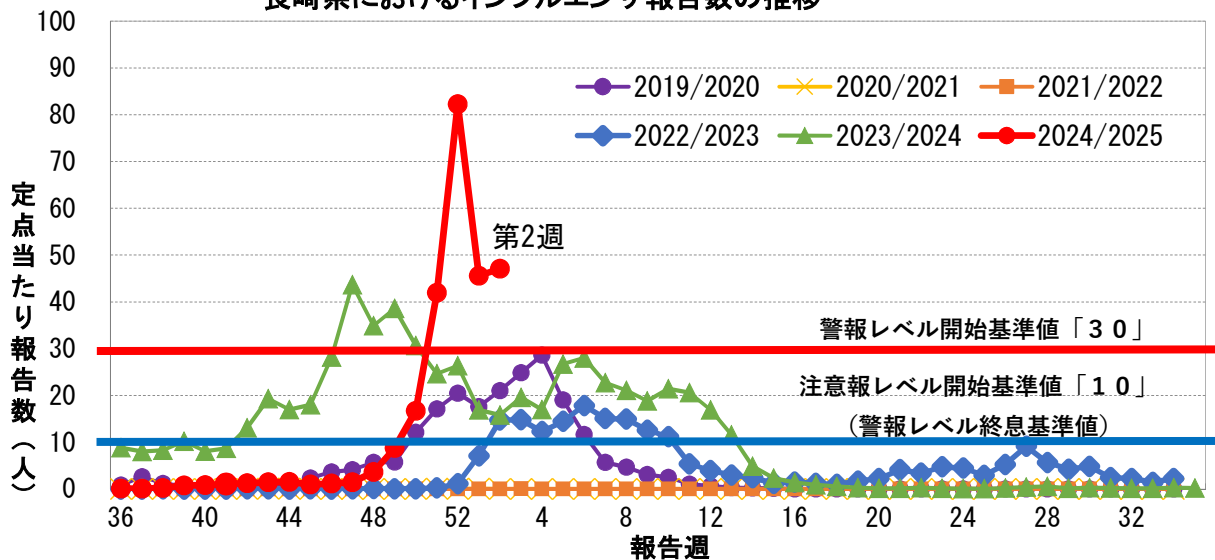
今後も手洗いの励行、適切なマスクの使用、換気などの基本的な感染対策に努め、感染予防を心がけましょう。また、インフルエンザワクチンは、発症及び重症化を一定程度予防する効果があります。希望される方は、ワクチンを接種しましょう。

発生状況について、長崎県感染症情報センターホームページ内「インフルエンザ」にも掲載しています。

（参考）厚生労働省 インフルエンザ総合ページ

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/infuenza/index.html

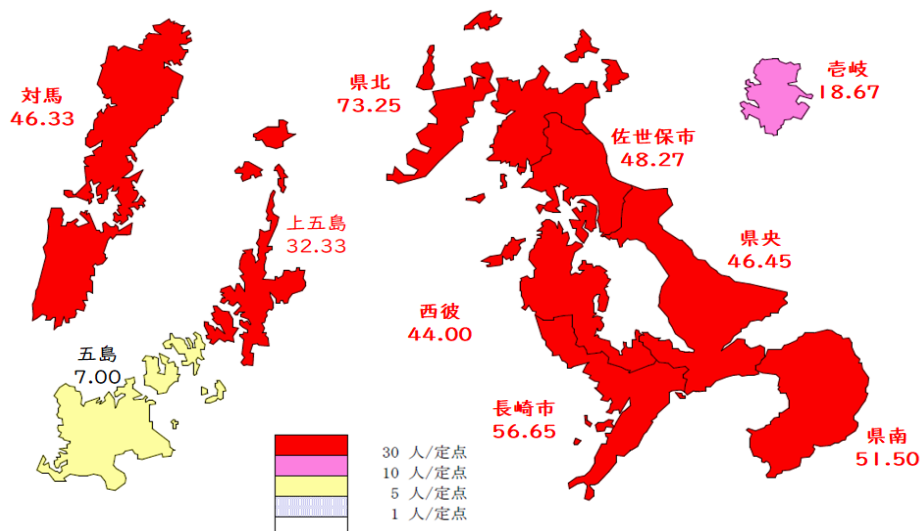
長崎県におけるインフルエンザ報告数の推移



インフルエンザの年代別患者報告数

	10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上
報告数(人)	1328	537	197	241	261	254	182	157	137
報告割合(%)	40.3	16.3	6.0	7.3	7.9	7.7	5.5	4.8	4.2

インフルエンザ 保健所別定点当たり報告数



※赤字は警報レベル、青字は注意報レベル

◆全数届出の感染症

2類感染症：報告なし

3類感染症：報告なし

4類感染症：報告なし

5類感染症(全数把握対象)：侵襲性肺炎球菌感染症 患者 男性(70代・2名、80代以上・1名)
女性(60代・1名)

◆定点把握の対象となる5類感染症

(1) 疾病別・週別発生状況 (第49～2週、12/2～1/12)

疾患名	定点当たり患者数					
	49週	50週	51週	52週	1週	2週
	12/2～	12/9～	12/16～	12/23～	12/30～	1/6～
インフルエンザ	8.79	16.73	41.96	82.27	45.60	47.06
新型コロナウイルス感染症	2.36	3.37	4.64	7.56	5.01	8.41
RSウイルス感染症	0.02	0.16	0.05	0.09	0.05	0.23
咽頭結膜熱	0.45	0.30	0.14	0.30	0.07	0.34
A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	3.61	5.39	3.95	3.43	1.27	2.48
感染性胃腸炎	3.18	2.61	3.55	2.89	0.64	2.86
水痘	0.25	0.25	0.36	0.34	0.27	0.41
手足口病	1.16	0.70	0.43	0.30	0.14	0.23
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.11	0.11	0.25	0.27	0.09	0.27
突発性発しん	0.23	0.25	0.32	0.34	0.07	0.14
ヘルパンギーナ	0.11	0.02	0.02	0.02		
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.02		0.02		0.05	0.02
急性出血性結膜炎	0.13		0.75	0.25	0.13	0.13
流行性角結膜炎	1.75	0.50	2.25	2.50	0.88	1.88
細菌性髄膜炎			0.08		0.08	
無菌性髄膜炎						
マイコプラズマ肺炎	1.25	1.00	0.67	1.17	0.50	0.75
クラミジア肺炎(わん病は除く)		0.08				
感染性胃腸炎(ロタウイルス)		0.08		0.08	0.33	

(2) 疾病別・保健所管内別発生状況 (第2週、1/6～1/12) ※赤字：警報レベル、青字：注意報レベル

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管轄別)										
	県	佐世保市	長崎市	壱岐	西彼	県央	県南	県北	五島	上五島	対馬
インフルエンザ	47.06	48.27	56.65	18.67	44.00	46.45	51.50	73.25	7.00	32.33	46.33
新型コロナウイルス感染症	8.41	3.09	5.82	9.67	6.17	6.09	8.88	6.50	2.75	60.33	11.33
RSウイルス感染症	0.23		0.70					0.33			1.00
咽頭結膜熱	0.34	0.17	1.00			0.29		0.33			0.50
A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	2.48	1.67	1.00	0.50	1.00	0.71	12.60	3.33	1.33		1.00
感染性胃腸炎	2.86	4.00	3.60		3.25	2.71	1.20	9.33			
水痘	0.41	0.17	1.00		1.25			0.67			
手足口病	0.23	0.33	0.10		0.75					2.00	
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.27	0.83	0.40		0.25						1.00
突発性発しん	0.14	0.67	0.10			0.14					
ヘルパンギーナ											
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.02		0.10								
急性出血性結膜炎	0.13						1.00				
流行性角結膜炎	1.88		1.33				11.00				
細菌性髄膜炎											
無菌性髄膜炎											
マイコプラズマ肺炎	0.75	1.00	2.00			1.00			1.00		
クラミジア肺炎(わん病は除く)											
感染性胃腸炎(ロタウイルス)											